

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 03-198806

(43)Date of publication of application : 30.08.1991

(51)Int.Cl.

A45C 13/30
G03B 17/56

(21)Application number : 01-336298

(71)Applicant : CANON INC

(22)Date of filing : 27.12.1989

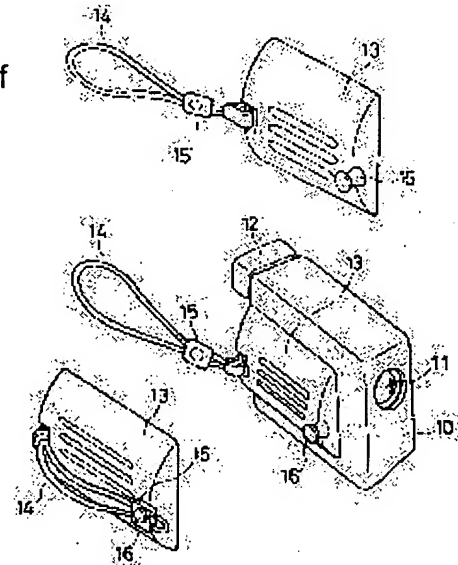
(72)Inventor : ICHIYOSHI HIROYUKI

(54) CAMERA

(57)Abstract:

PURPOSE: To promote convenience both for photographing and carrying a camera by giving a strap a function of support of the back of the hand.

CONSTITUTION: When using a strap 14 to carry a camera, a slide 15 is moved to the root of the strap 14 to make a loop largest. User puts his hand through the strap 14 and hangs a camera body 10 to carry. On the other hand, when using it as a support of the back of the hand, the slide 15 is moved to the head of the strap 14, and the slide 15 is fitted onto a connection member 16 of a camera grip 13 and fixed. At this time, user must determine a stopping position of the slide 15 beforehand so that his fingers can put through freely between the camera grip 13 and the strap 14. Thus, by putting through the space between the camera grip 13 and the strap 14 and holding a camera body 10 gripping the camera grip 13 with fingers, a stable photographing is allowed.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑫ 公開特許公報(A) 平3-198806

⑮ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成3年(1991)8月30日

A 45 C 13/30
G 03 B 17/56Z 6704-3B
D 7811-2H

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

⑭ 発明の名称 カメラ

⑯ 特 願 平1-336298

⑰ 出 願 平1(1989)12月27日

⑱ 発 明 者 市 吉 浩 行 神奈川県川崎市高津区下野毛770番地 キヤノン株式会社
玉川事業所内

⑲ 出 願 人 キヤノン株式会社 東京都大田区下丸子3丁目30番2号

⑳ 代 理 人 弁理士 田北 嵩晴

明 細 書

1. 発明の名称

カメラ

2. 特許請求の範囲

グリップを有するカメラにおいて、該グリップ近傍の部位に一端が支持されるループ状のストラップと、該ストラップに係着されると共に両端間を任意に移動可能な甲当て位置決め部材と、前記ストラップの支持部位に対し、掌幅部位の反対側に位置し、前記甲当て位置決め部材を着脱自在に係着させる結合部材とを具備することを特徴とするカメラ。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明は、携帯型のビデオカメラ、スチルカメラなどのカメラに関し、ストラップ及びグリップ甲当てを併せもったカメラに関するものである。

〔従来の技術〕

従来より、ビデオカメラ、スチルカメラなどで

は、カメラを安定に保持し、手からの落下などを防止するためのグリップ甲当てと、撮影を行わない時に手に吊り下げるためのストラップの両方あるいは片方を備えている。

第10図はビデオカメラにおける従来のグリップ甲当て及びストラップを示す側面図である。

カメラ本体1の側部には、カメラグリップ2が取付けられ、このカメラグリップ2に甲当て3が装着されている。さらに、カメラ本体1の後部には、可撓性の素材をループ状にして上下2ヶ所にストラップ4が装着されている。

使用に際しては、撮影を行う場合、甲当て3内に右手の親指以外の指を挿入し、カメラグリップ2を握むようにしてカメラ本体1を把持し、被写体を追従する。このとき、ストラップ4には手をかけず、放置しておく。一方、撮影を行わず、持ち歩く時などには甲当て3は使用せず、片手でストラップ4を持ち、カメラ本体1を吊り下げる。

第11図及び第12図はスチルカメラにおける

従来のストラップ及びグリップ甲当てを示す正面図である。

第11図に示すように、カメラ本体5の側部には、カメラグリップ6が着脱自在に装着され、このカメラグリップ6の下端にストラップ7が取り付けられている。カメラグリップ6は、内部に電池などが収納されると共に、撮影目的、好みなどに応じてその形状を代えたものが数種類用意されている。

また、第12図に示すように、カメラグリップ6には、ストラップ7に代えて甲当て8が取付けられる場合もある。ストラップ7の付いたカメラグリップ6にするか甲当て8の付いたカメラグリップ6にするかは、カメラの使用頻度、撮影目的などにより使いわけられる。

〔発明が解決しようとする課題〕

第10図のような従来のストラップにおいては、撮影時に手や指に結んで煩わしいばかりか、この他に甲当てを設けねばならないため、部品点数が多くなりコストアップを招いていた。

近傍に一端に係着されたストラップの他端を支持固定しない時にはストラップとして用いることができ、また、ストラップの他端をグリップの反対側の位置に支持固定することによって、その支持点間が甲当て部として機能する。従って、従来のストラップと甲当ての2つの部品を必要としたものが、この発明では1部品で済ますことが可能になり、使い勝手を向上できると共にコストダウンを図ることが可能になる。

〔実施例〕

第1図はこの発明の一実施例を示す斜視図で、第2図はストラップとして用いた場合のカメラグリップ部の詳細を示す斜視図、第3図は甲当てとして用いた場合の詳細を示す斜視図である。ここでは、この発明の適用に好適なサイドグリップ型の小型8ミリビデオカメラを例に説明している。

カメラ本体10は、全面に撮影レンズ11を有し、後面に被写体確認用の光学式あるいは超小型ブラウン管を用いたファインダ12を有している。また、カメラ本体10の側面にはループ上の

また、第11図及び第12図のような従来構成では、目的に応じてストラップ又は甲当てのついたグリップを交換する必要がある、持ち運びの至便性と撮影のし易さの二つを両立させることが事実上できなかった。

この発明は、上記従来技術の実情に鑑みてなされたもので、ストラップに甲当ての機能を持たせ、撮影及び持ち運びの至便性の両立を図れるようにしたカメラを提供することを目的とする。

〔課題を解決するための手段〕

上記の目的を達成するために、この発明は、グリップを有するカメラにおいて、該グリップ近傍の部位に一端が支持されるループ上のストラップと、該ストラップに係着されると共に両端間を任意に移動可能な甲当て位置決め部材と、前記ストラップの支持部位に対し、掌幅部位の反対側に位置し、前記甲当て位置決め部材を着脱自在に係着させる結合部材とを設けたものである。

〔作用〕

上記のように構成することによって、グループ

カメラグリップ13が固定されている。

カメラグリップ13は、カメラ本体10の前後方向に長手方向がくるように配設され、その後端にストラップ14が回動自在に取り付けられている。カメラグリップ13には、その2本を同一位置に嵌入した状態でループを拡大、縮小できるように甲当て位置決め部材15が装着されている。なお、甲当て位置決め部材15は、ストラップ14の先端から抜け落ちることがないように装着され、結合部材16に対するロック及びアンロック機構（いずれも不図示）を備えている。

また、カメラカメラグリップ13の前端（ストラップ14の装置位置の反対側）には、甲当て位置決め部材15に係着させるための結合部材16が設けられている。

以上の構成において、ストラップとして用いる場合、第2図に示すように、甲当て位置決め部材15をストラップ14の付け根部に移動させ、ループを最大状態にする。これにより、第4図に示すように、ストラップ14内に手を差し入れ、

カメラ本体10を吊り下げようにして持つことにより、持ち運びができるようになる。ストラップ14の装着部は、カメラグリップ13に対し、遊びを持った状態で固定されているので、カメラ本体10の駆動を自在にし、ストラップ14の付け根部に曲げ荷重や過大な振れれが加わらないようにしている。

一方、甲当てとして用いる場合、甲当て位置決め部材15をストラップ14の先端部に移動させ、第3図に示すように、この状態で甲当て位置決め部材15をカメラグリップ13の結合部材16に嵌入させて固定する。この場合、カメラグリップ13とストラップ14との間に、指が余裕をもって挿入できるように予め甲当て位置決め部材15の止め位置を決めておく。これにより、第5図に示すように、カメラグリップ13とストラップ14の隙間に指を挿入し、カメラグリップ13を把持するようにカメラ本体10を保持することにより、安定した撮影を行うことができる。

第6図及び第7図はこの発明の第2の実施例を

示す正面図である。この状態で甲当て位置決め部材15をカメラグリップ13の結合部材16に嵌入させて固定する。この場合、甲当てが垂直に形成されるので、指は水平に挿入してカメラグリップ17を把持することになる。

第8図及び第9図はこの発明の第3の実施例を示すストラップ形成時及び甲当て形成時の状態を示す正面図である。

この実施例は、第11図に示したカメラグリップ交換型のスチルカメラに適用した例である。前記各実施例と同様に甲当て位置決め部材15を有するストラップ14は、その付け根部がカメラグリップ6の下端に揺動あるいは回動自在に装着される。更に、カメラグリップ6の上端には、第1図に示したと同様構造の結合部材16が固定設置されている。

この実施例において、ストラップとして用いる場合、第8図に示すように、甲当て位置決め部材15をストラップ14の付け根部に位置させ、最大ループ状態にし、他端(自由端)をフリーにしたままにし、持ち運び時には手を挿入してカメラ

を示すストラップ形成時及び甲当て形成時の状態を示す正面図である。

この実施例は、ピストル型のカメラグリップ17を有するカメラ本体18に適用した例である。前記実施例に示したと同一構成の甲当て位置決め部材15を有するストラップ14がカメラグリップ17下端に装着され、更に、カメラグリップ17の上端には結合部材16が設けられている。

この実施例では、ストラップとして用いる場合、第6図に示すように、甲当て位置決め部材15をストラップ14の付け根部に位置させ、最大ループ状態にし、他端(自由端)をフリーにしたまま吊下させておく。移動などで撮影を行わないときには、第4図と同様に指を挿入してストラップ14を支え持つことにより、カメラを落下させることなく持ち運ぶことができる。

また、甲当てとして用いる場合、甲当て位置決め部材15をストラップ14の自由端に移動させ、第7図に示すように、この状態で甲当て位置

を吊り下げればよい。また、甲当てとして用いる場合、甲当て位置決め部材15をストラップ14の自由端の適当な位置へ移動させ、第9図に示すように、この状態で甲当て位置決め部材15をカメラグリップ6の結合部材16に嵌入させて固定する。この場合、指はカメラ本体5の後側から前方へ挿入して、カメラグリップ6を把持することになる。

なお、上記実施例においては、ストラップ14をカメラグリップに設けるものとしたが、カメラグリップが特に形成されていないカメラに対しても、撮影時に把持される部位近傍のカメラ本体に直接取付けるとにより、この部位はグリップに等価になり、この発明の目的を達成することができる。

また、上記各実施例においては、甲当て位置決め部材15をストラップ14の2本に係着(外嵌)させるものとしたが、一本のみに移動自在に係着させる構成にしてもよい。

〔発明の効果〕

以上説明した通り、この発明は、カメラはグリップ近傍の部位に一端が支持されるループ上のストラップと、該ストラップに係着されると共に両端間を任意に移動可能な甲当て位置決め部材と、前記ストラップの支持部位に対し、掌幅部位の反対側に位置し、前記甲当て位置決め部材を着脱自在に係着させる結合部材とを設けるうよにしたので、撮影時の操作生を向上させながら安定したカメラ操作が可能になる。また、部品点数を増やすことなくストラップと甲当てとの兼用が可能になる。

4. 図面の簡単な説明

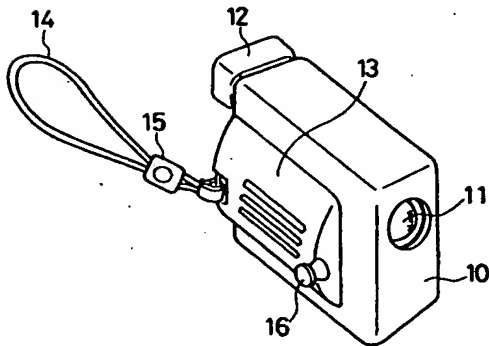
第1図はこの発明の一実施例を示す斜視図、第2図はストラップとして用いた場合のカメラグリップ部の詳細を示す斜視図、第3図は甲当てとして用いた場合の詳細を示す斜視図、第4図はストラップとしての使用状態を示す側面図、第5図は甲当てとしての使用状態を示す側面図、第6図及び第7図はこの発明の第2実施例を示すストラップ形成時及び甲当て形成時の状態を示す各正面図

図、第8図及び第9図はこの発明の第2実施例を示すストラップ形成時及び甲当て形成時の状態を示す各正面図、第10図はビデオカメラにおける従来のグリップ甲当て及びストラップを示す側面図、第11図及び第12図はスチルカメラにおける従来のストラップ及びグリップ甲当てを示す正面図である。

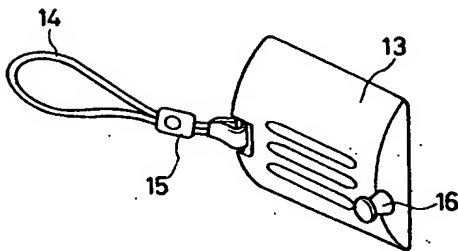
図中、

- 5, 10, 18: カメラ本体
- 6, 13, 17: カメラグリップ
- 12: ファインダ
- 14: ストラップ
- 15: 甲当て位置決め部材
- 16: 結合部材

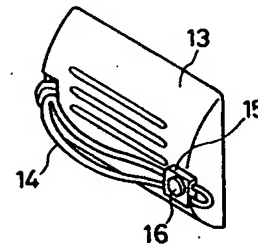
代理人 弁理士 田 北 嵩 晴



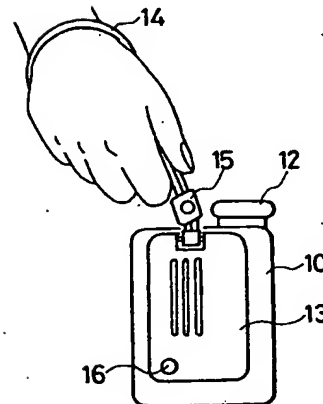
第 1 図



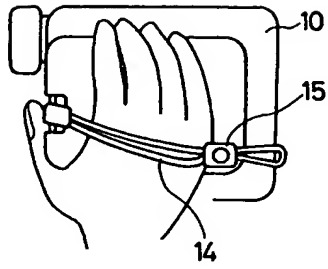
第 2 図



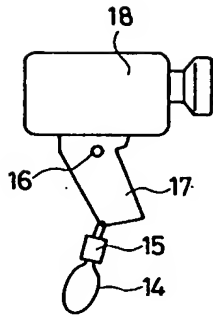
第 3 図



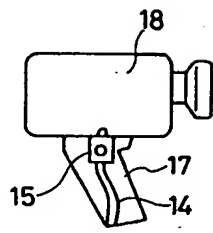
第 4 図



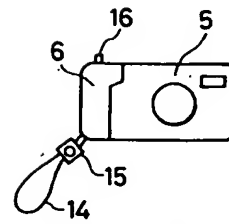
第 5 図



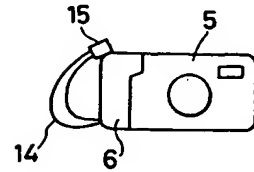
第 6 図



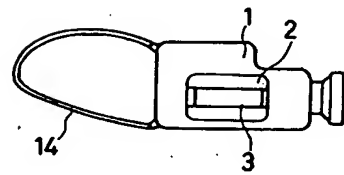
第 7 図



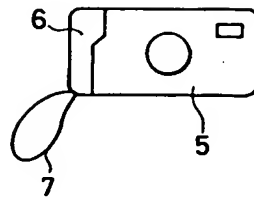
第 8 図



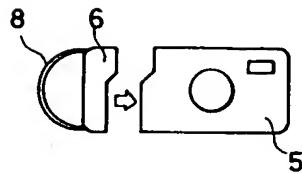
第 9 図



第 10 図



第 11 図



第 12 図